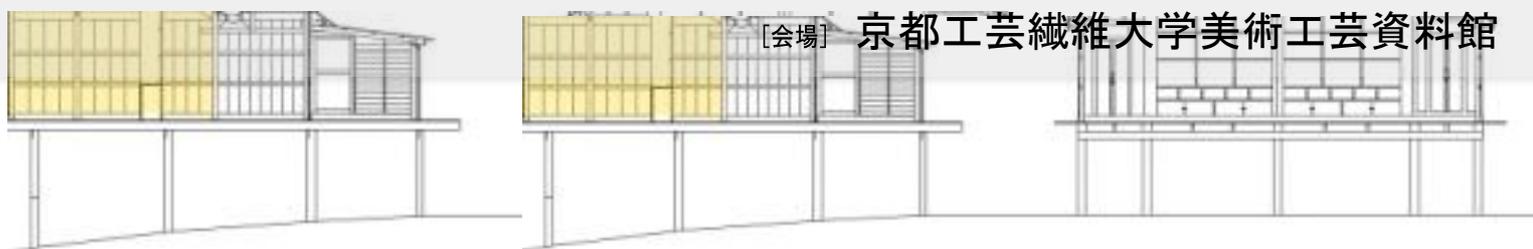




หมู่บ้านริมน้ำในประเทศไทย

WATER-ALONG HAMLETS IN THAILAND

[会期] **2013** 年 **3** 月 **18** 日 (月) ~ **5** 月 **6** 日 (月)



CU + KIT

Chulalongkorn University +
Kyoto Institute of Technology

タイの水辺集落

企画 京都工芸繊維大学文化遺産教育研究センター
共催 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

หมู่บ้านริมน้ำในประเทศไทย

タイの水辺集落

チャオプラヤ川の豊かな流れが国土をつらぬくタイでは、かつて、人々の生活はいつも水辺で営まれていました。近代化の中で、そのような暮らしぶりも大きく変化を遂げましたが、アユタヤ近くのホアウィアン村には、昔ながらのつくりの家がいくつも残っています。この村では、川は船で行き来するための交通路だけではなく、水上市場が開かれる生活の中心的存在だったのです。今回取り上げる水辺集落は、木造高床式の住居が川べりに立ち並ぶ景観が特徴的です。林立する背の高い柱杭の上にデッキを張って立ち上がる住居は、タイ伝統の屋根型を持った形式です。水辺に開かれた構えは、かつての水上生活の名残りとどめています。

この集落も、この前のタイ大洪水時には何ヶ月もの間、屋根近くまで水の下になり被害を受けてしまいました。今後、住民の生活をいかに守っていくかが大きな問題になっています。一方で、長年培われた水と共に暮らすライフスタイルを反映した住居形式は、タイの貴重な文化であり、この良さを活かしながら新たな方向性を考えることが急務となっています。

このような現地からの要請に応えるために、チュラロンコーン大学と本学との共同で、水上住居の研究に取り組むこととなりました。本学からは「文化遺産リソースマネジメントコース」として実施し、多くの学生がこの調査研究に参加しています。今回の展示では、その成果の一端をご紹介します。

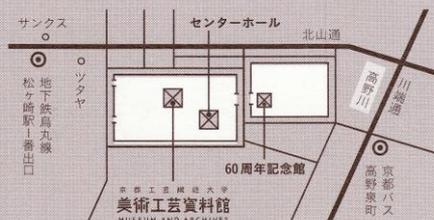


開館時間●10時～17時（入館は16時半まで）
休館日●日曜・祝日
（ただし4月28日から5月6日までは開館します）
料金●一般200円、大学生150円、高校生以下無料

●ギャラリートーク：4月20日(土)11:30～

2013年3月18日月 - 5月6日月

【地下鉄をご利用の場合】
地下鉄烏丸線松ヶ崎駅出口1から右(東)へ約400m、
4つ目の信号を右(南)へ約180m
【バスをご利用の場合】
京都バス高野塚町下車、馬橋を渡り左へ約200m
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
TEL. 075-724-7924
<http://www.cis.kit.ac.jp/~siryokan/>



企画：京都工芸繊維大学文化遺産教育研究センター
共催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES